



吉備中央町

議会だより

第29号

平成24年4月20日 発行

発行／岡山県吉備中央町議会

〒716-1192

岡山県加賀郡吉備中央町

豊野1-2

TEL.0866-54-2081

FAX.0866-54-1366

編集／議会広報編集委員会



おともだちになろうネ♪

TOPICS

平成24年度予算決まる!2

副町長1人制・議員定数3

9議員が町政を問う6

新設中学校 関連含む 平成24年度 予算決まる！

平成24年第2回定例会が3月7日から27日までの21日間にわたり開催され、平成24年度予算をはじめ44議案、請願1件、陳情4件、要望1件が上程され、要望書1件を継続審査とし、さらに追加4議案、諮問1件、発議6件を可決した。

平成24年度 予算・新規事業の主な事業



狭い！

新設中学校に関する道路、橋梁の拡幅工事費用。

新設中学校関連
道路改良事業

3800万円



期待される新設中

新設中学校の土地などの取得や改修費用。

新設中学校整備
事業 9100万円



地域の力で頑張る！

町が認定した道路の草刈りを、集落で行った場合に補助。（1km当たり3万円の予定）

道路維持費補助
事業 1000万円



消火完了！

自主防災組織をつくり、災害時の防災用品購入や訓練を行う団体に助成。

自主防災組織
防災活動支援事業
200万円



有害から特産へ！

イノシシの皮を利用した、特産品の開発及びPR事業。

特産品開発及び
PR事業
200万円

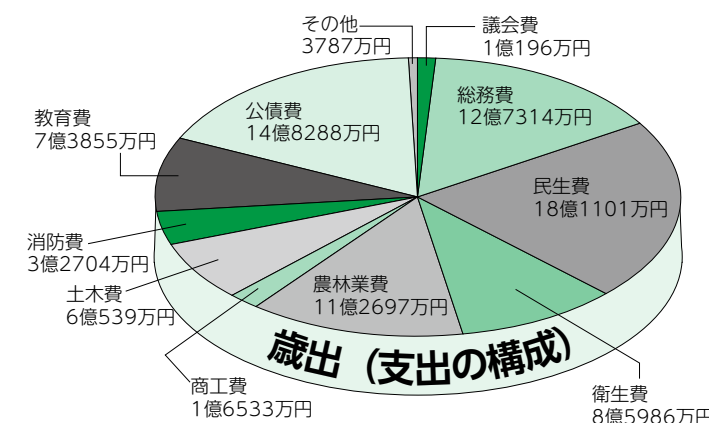
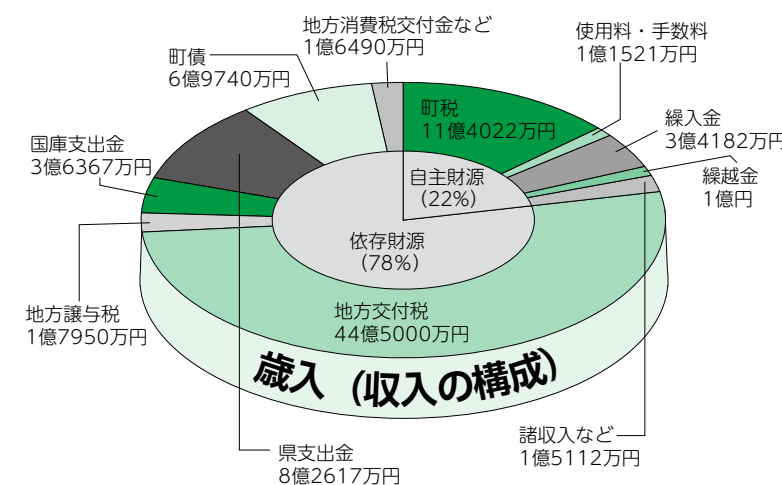


電気で走る！

吉備高原都市内へ電気自動車の急速充電器を設置。

電気自動車急
速充電器設置事業
473万円

一般会計……85億3千万円



●特別会計●

区 分	予 算 額	対前年比 (%)
国民健康保険	16億2571万円	11.0
介護保険	18億9580万円	5.5
後期高齢者医療	1億5844万円	1.2
育英資金	3404万円	△6.6
診療所	1670万円	△31.0
簡易水道	5億1241万円	△2.1
下水道	1億1237万円	0.2
農業集落排水事業	1億5347万円	4.7
住宅新築資金等貸付事業	107万円	△38.2
吉川財産区管理会	1931万円	△0.5
大和財産区管理会	293万円	△8.5
賀陽財産区管理会	2423万円	6.1
合 計	45億5648万円	5.7

●上水道特別会計●

	収 入	支 出
収 益	3億 660万円	2億9984万円
資 本	3977万円	7514万円
合 計	3億4637万円	3億7498万円

審議



軽い運動健康づくり

問 本町の住民が町の斎場を利用する場合は現行と同じである。

現在、霊柩車

答 霊柩車使用料をなぜ改正するのか。

問

新規就農者に対し、指定管理が目的ではない。植栽後5年間は収入がなく減免が必要である。また、貯水槽へのポンプアップ経費など考慮すると10万円位になる。植栽や管理は農業公社にお願いする。

答

現在と同じく利用できる。国の制限期間後は改正したい。

23年度一般・特別補正予算

企画費の集落機能再編強化事

問

企画費の集落機能再編強化事

答

充電器を県内に20カ所設置。

問

電気自動車急速充電器設置事業があるが、町内に何台の電気自動車があるのか。

24年度一般・特別会計予算

特別会計予算

答

育英資金は寄付金によって運営されている。利用と共に寄付金についてもPRしているが、寄付は減少している。現在の残高から10年程度は維持できる。

問

育英資金は昨年より予算が減っているが今後の見通しは。

答

防護柵の申請が増えているのと、新年度から猿の駆除費1頭1万4000円を、4万円に引き上げる。

問

耕作放棄地が増えるなかで、有害鳥獣駆除費や対策費が増えているが。

介護保険

問

吉備中央町の介護保険料は、現行でも高く厳しい。少ない年金を生活費に費やし、介護を受けたくても受けることができない実態があるがどう対応するのか。

答

他の市町村よりも介護施設が多く、利用率も高いため、支出が多くやむを得ない。難しい課題であるが都道府県で一本化すべきだと思っている。既に福岡県では行っている。

霊柩車使用料

問

霊柩車使用料をなぜ改正するのか。

答

本町の住民が町の斎場を利用する場合は現行と同じである。

現在、霊柩車

問

新規就農者に対し、指定管理が目的ではない。植栽後5年間は収入がなく減免が必要である。また、貯水槽へのポンプアップ経費など考慮すると10万円位になる。植栽や管理は農業公社にお願いする。

答

現在と同じく利用できる。国の制限期間後は改正したい。

23年度一般・特別補正予算

企画費の集落機能再編強化事

問

企画費の集落機能再編強化事

答

充電器を県内に20カ所設置。

問

電気自動車急速充電器設置事業があるが、町内に何台の電気自動車があるのか。

24年度一般・特別会計予算

特別会計予算

答

育英資金は寄付金によって運営されている。利用と共に寄付金についてもPRしているが、寄付は減少している。現在の残高から10年程度は維持できる。

問

育英資金は昨年より予算が減っているが今後の見通しは。

答

防護柵の申請が増えているのと、新年度から猿の駆除費1頭1万4000円を、4万円に引き上げる。

問

耕作放棄地が増えるなかで、有害鳥獣駆除費や対策費が増えているが。

3月定例会

おもな条例の改正

れる。これに伴い24年10月から賀陽エリアも指定ごみ袋となり有料化される。

御津・加茂川環境施設組合を解散

御津・加茂川環境施設組合が解散し、加茂川エリアのごみも、4月から高梁に一本化さ

副町長定数を1人減

合併以来2人体制を続けてきた副町長（助役）の定数を1人削減し24年11月から1人とする。

火葬場の使用料など改正

火葬場の使用料・霊柩車使用料を改正。区分は変更されるが、使用料は今までと同じ。霊柩車は町外の火葬場への搬入が可能となった。

ピオーネ生産団地

ストックファームの跡地をピオーネ生産団地にする条例

農畜産物処理加工センター

ストックファームの中にある農畜産物の処理加工施設。農業公社が管理していたが、指定管理に移行する条例

町営住宅条例

独身者でも条件が整えば入居できるように改正。

図書館条例を改正

協議会委員を8名以内に委嘱し図書館を円滑に運営する。法の改正に伴い図書館協議会の委員の選任区分を明確にするもの。図書館の設置で24年度委嘱する。定数は

平成23年度補正予算

平成23年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億3003万円減額し、歳入歳出予算の総額を92億5835万円とする。

一般会計

★年度終了で各事業の事業費が確定したことに伴う減額

おもな内容

★子ども手当（3380万円減額）政府の改正による。
★災害復旧費（3400万円減額）昨年の台風12号が激甚の指

特別会計

★年度終了により、事業費が確定したことに伴う増減。

追加議案

★はるみの丘の競売が成立し個人の所有になる。

議員定数

★議員定数を2人減し、定数を14人とする発議
反対・賛成討論に各4人の議員が立ち、採決の結果7対7の同数になり、議長裁決で否決された。

資源ゴミは宝の山



介護保険料、平均5400円アップ

介護保険の保険料率を改正、平均で年額5400円を値上げする。

ピオーネ生産団地

の一般貨物営業の許可申請をしている。許可が出れば町外にも行けるようになる。

問

予算計上しているが施設等明確でない。また、全面指定管理になるのか。10a当たり10万円の使用料の根拠は。植栽から貸し出すまでの管理は。

加工センター

問

農畜産物処理加工場の一般の方の利用はどうなるのか。

答

現在と同じく利用できる。国の制限期間後は改正したい。

23年度一般・特別補正予算

企画費の集落機能再編強化事

問

企画費の集落機能再編強化事

答

充電器を県内に20カ所設置。

問

電気自動車急速充電器設置事業があるが、町内に何台の電気自動車があるのか。

24年度一般・特別会計予算

特別会計予算

答

育英資金は寄付金によって運営されている。利用と共に寄付金についてもPRしているが、寄付は減少している。現在の残高から10年程度は維持できる。

問

育英資金は昨年より予算が減っているが今後の見通しは。

答

防護柵の申請が増えているのと、新年度から猿の駆除費1頭1万4000円を、4万円に引き上げる。

問

耕作放棄地が増えるなかで、有害鳥獣駆除費や対策費が増えているが。

有効活用を期待！



整備を待つストックファーム



黒田 員米 議員

問 買い物弱者に対する考えは

答 研究の必要性を感じる

問 少子高齢化、核家族化、それに伴い地域からの商店の廃業及び商業施設までの交通手段の欠如などにより、町内の特に高齢者が日常の買い物に苦労している。

県の調査結果について町としては現状をどのように捉え、将来予測と対応政策をどう考えているか。また、国県が募集する買い物支援対策事業へは応募しないのか。町としてさ



誰が支える、買物弱者

研究の必要性がある。

答 大塚企画課長

買い物弱者対策の事業費について新年度予算には計上していないが、国県補助事業への応募など、年度途中からでも研究結果によって応募する。町内の買い物弱者に関する詳細な調査は、集落支援員の協力により実施を考える。

らに詳細な実態調査、並びに要望調査は行わないのか。

答 重森町長

他市町村の地域の実例なども調査し、集落支援員の協力も得た中で、今後どのような方法が一番良いのか

在宅医療・介護の基盤づくり

問 住み慣れた地域で生活を続けられる在宅医療、在宅看護を可能とする基盤づくりを、将来に備えて構築する考えや「定期巡回・随時対応サ―ビス」などに地域内事業者が取り組むための支援の考えはないか。

答 石坂保健課長

だれでもどこでも必要に応じた適切な医療を受けられるよう、限りある保健医療資源の効率的、適正な配置が必要。

答 山根福祉課長

「定期巡回・随時対応サ―ビス」に取り組む事業者に対しては、県補助も活用しながら町として支援をする。



進むトイレの洋式化（和気中学校）

公共施設トイレの洋式化

問 足や膝に痛みを抱える人が増え、生活様式の変化や高齢化に伴い、個人の家庭内においてはトイレの洋式化が進んでいる。そこで、公共施設や教育施設、公民館などに洋式トイレ（できる限り洗浄機能付き）設置を推進してはどうか。また、新設中学校

答 町長

公共施設のトイレは、今の時代、早急に改善を進めるべきと考える。

答 津島教育長

新設中学校のトイレは、設計段階で洋式化設置を前向きに検討する。

町政を問う

9 議員が一般質問

問 介護保険税の値上げの要因は

答 国の制度改正によるもの



新谷 富彦 議員

一般会計からも繰り入れすべきではないか。

答 重森町長

値上げの要因は国の制度改正によるものである。

町では、特養、老健施設、小規模多機能施設など多く整備しており利用度が高い。

自宅介護ができれば保険税も抑えられる。一般会計からの繰り入れについては、制度上できないため、今のところ考えていない。



からだ動かし健康づくり

答 山根福祉課長

今回の保険税決定には、景気の低迷にも配慮し、財政安定化基金と支払い準備基金とで8328万円を繰り入れた。

財源について高齢者割合が20%から21%にアップされたことが厳

しいと思う。

介護報酬改定は、在宅介護分に1%、施設介護分に、0・2%引き上げる。

今後における施策で施設の増設も難しく健康づくりや、介護予防に意識を持つてもらうことが保険料の抑制につながる。

今後は、居宅生活者の巡回型訪問も考えていきたい。

答 町長

採算性からすたれていたが、今クローズアップされている。

岡山県の菜の花プロジェクト推進協議会に参加しており、農業公社が約1ha取組んだ。昨年200kg収穫でき、19万3000円販売した。

経理も適正に行い、経費は50万円となった。現実にはバイオマスといっても大変厳しい。



エネルギーに変わる菜の花

問 原発に頼らないエネルギーが全国的な課題となっている。

再生エネルギーへの転換について

町内の転作面積は917haあり、米粉用米や黒大豆など作付けしている。

転作に、菜種、ヒマワリなどは対象にならないか。

生産費と価格差が大きいところは、原発マ

のリフォーム計画における洋式トイレの予定は。



川上 一郎 議員

問 国少職員宿舍の利用は 答 避難者に限って利用可能

問 国立吉備青少年自然の家の職員宿舍を借り受けることはできないか。
吉備高原都市内で安く貸してくれる空き家はないかと、問い合わせが増えている。吉備高原都市内には空き家は多くあっても、知っている限りでは、現在問い合わせに答えられる物件は1軒もない。若い人たちが、新婚家庭の問い合わせだけ



空き家は増えるが… (吉備高原都市)

答 国立吉備青少年自然の家の職員宿舍を借り受けることはできないか。
吉備高原都市内で安く貸してくれる空き家はないかと、問い合わせが増えている。吉備高原都市内には空き家は多くあっても、知っている限りでは、現在問い合わせに答えられる物件は1軒もない。若い人たちが、新婚家庭の問い合わせだけ

答 重森町長

以前私も使えないかと思ったが、今は国立吉備青少年自然の家では管理していないので、直接文部科学省と交渉しなければならず、途切れていた話を改めて担当が調査した。

問 当然、新年度から旧賀陽地域においても、ゴミは指定袋による有料化の方向で移行の準備はできているものと考えています。町長の施政方針演説では、下半期から有料化できれば、というような話であったが、

答 ゴミの有料化について

賀陽地域になく、依頼や契約をする期間も必要となる。時間的な余裕もないので、4月の指定袋への移行は無理である。



適正分別、負担を減らす

答 大塚企画課長
国立吉備青少年自然の家の職員宿舍を借り受けることはできないか。
吉備高原都市内で安く貸してくれる空き家はないかと、問い合わせが増えている。吉備高原都市内には空き家は多くあっても、知っている限りでは、現在問い合わせに答えられる物件は1軒もない。若い人たちが、新婚家庭の問い合わせだけ

答 網島住民課長

現在旧町ごとに別々の条例があり、統一した条例整備が必要となる。3月議会に条例制定の追加提案をする予定である。議決後、賀陽地域に指定ゴミ袋の導入の周知、啓発を行うように考えている。

答 住民課長

条例の問題よりも時間的な余裕がないと聞き取れたが、最初に聞いた12月からの3カ月では、時間が足りないというところか。

問 放射能汚染への対応は

答 流通食材は基準内と信じる



森下 誠一 議員

問 福島原発事故により、全ての食材が安心して食べられなくなった。既に、福島の子ども健康調査では、3人に1人が甲状腺に異常が見つかっているという。町は福島から遠く離れており、何ら問題ないと思われるが、食材、食品の多くは全国を流通している。大人よりも子どもの方が放射性物質の影響を受け

易い。学校給食を安心して食べさせるために、汚染物質の測定を行い、適切な対応をしているか。
また、学校給食は児童全員が食べているか。
町では、



可視化で安心を

答 重森町長
県の方針は、県内を11地域に分け、広域的な放射線の平常時のバックグラウンドを把握するための調査である。この調査地点として、吉備高原にあ

問 最近環境に優しくクリーンなエネルギーとして薪ストーブについて

答 津島教育長
学校給食の材料は出荷先や生産工場等で検査し、安全な食材・食品を前提に、町独自の検査は実施していない。
学校給食は現在22名の幼稚園児・小学校児童・中学校生徒が全給食または一部を食べていない。アレルギー体質や放射性物質の影響の心配が原因である。
現段階では国の出した基準を信じ、流通している食材は基準を満たしているという前提のもとで対応したい。

答 町長
真庭市では新庁舎の冷暖房全てをバイオマスをチップ・ペレットを使って、通常経費の2/3程度のものである。



燃料は地産地消で

薪ストーブ・薪給湯ボイラーなどがクリーンエネルギーとして見直されているが、これらに町として助成をし、普及することで、山林や里山の整備ができ地域の環境を守ることができる。
薪ストーブ等

答 前田総務課長

の助成が里山保全につながるというのは疑問だ。伐採から、薪割りまで多大な労力を使うことに、多くの人が取り組むか疑問である。

る生物化学研究所が選ばれている。測定が始めればデータを提供してもらおう。

が見直されている。里山の荒廃で有害鳥獣の被害が多発している。また、山林の荒廃が有害鳥獣の繁殖に大きく関わっていると考

その背景には林業が盛んで、製材業者が多い。薪の見直しはいいが、現実には難しい。



日名 義人 議員

問 デマンドタクシーを全域に 答 交通施策の根底にしたい

問 デマンドタクシーは好評で毎日運行中。民間との競争問題もあるが、既存のバス路線の見直し、地域の意向も踏まえてデマンド方式を新たな交通施

答 交通空白地域は住み続けられない。のちに「デマンドタクシーの拡充と、その予算化」は歓迎だ。が「既存バスに接続の町内幹線環状巡回バス構想」の必要性を聞く。



積極的な利用を

問 TPP問題、大手マスコミの偏向振りがひどい中、「小規模経営農家を含めて農業と農村環境を維持（マニフェスト）」とした個別所得補償制度を民自公で見直しとTPP参加対策が、農地集積・大規模化で一致。

答 既に「人・農地プランを全国全集落で」の説明会が本町でも持たれたが内容は。

問 入札制度見直しと公契約条例制定は入札競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

答 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。



武道は日本の心

問 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

答 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

問 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

答 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

問 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。

答 入札制度が低価格競争にさらされていないか。入札制度の改革は。また、公契約条例制定の検討はするの。



難波 武志 議員

問 一律基準反収の見直しを 答 新たな見直し基準に期待

問 新規需要米の作付けは、生産調整目標を超えて水稲を栽培しても戸別所得補償が受けられる。併せて、耕作放棄地の解消にもつながるといふメリットがある。しかし、10a当たりの収量の基準が高すぎたり、米価の安値などから計画通りに作付けが拡大していないのが現状である。

答 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を



おいしいお米になるように

問 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を

問 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を



適切管理で災害防止

問 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を

問 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を

答 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を

問 新規需要米は転作作物扱いであり、転作するのは条件の悪い場所から行うので反収が悪くなる。町内一律には厳しいものがある。今後、一層の拡大を



草地 博之 議員

問

かもがわ球場を硬式対応に

答

財政上、改修は考えていない

球場は、軟式野球を基準にしている関係で、バックネットの強度と高さ、幅が不足している。また、バッターボックスに立った時、外野後方の道のあたりが光り、ピッチャーの球が見にくいという指摘もある。

津島教育長 高野連の基準までの整備は難しいが、過疎計画にもあり、将来展望として、財政や利用状況を見ながら、宝くじ・BG財団の助成などを活用して、整備ができるよう検討したい。

答

津島教育長

問

球場を基準にしている関係で、バックネットの強度と高さ、幅が不足している。また、バッターボックスに立った時、外野後方の道のあたりが光り、ピッチャーの球が見にくいという指摘もある。

答

重森町長



岡山県のどまんなか球場

問

減塩の取り組みは

日本人は世界で一番の高食塩国で、塩分の取り過ぎは高血圧ばかりでなく、脳卒中や心筋梗塞などの血管病、胃がんや骨粗鬆症の原因にもなる。

答

町長

減塩食は大切であり、生活習慣病対策として現在も実施している。

答

石坂保健課長

今後広報誌、パンフレット、ヘルスアップ教室、栄養教室、老人クラブなどあらゆる機会を捉えて、啓蒙していく。

乳幼児期が大切であり、検診、食育に携わる給食調理員の研修など、さらに力をいれていく。

県の行っている、栄養表示店を増やす運動もさらに進める。



意外に高い塩分

問

学校問題相談窓口設置を求む

答

現段階では設置の考えはない



石井 雅之 議員

答

津島教育長

町内の校内暴力の事例やネット上の問題書き込みは皆無ではない。

例示された東京都のセンター

め、県総合教育センター等とも連携した対応をしている。また、スクールカウンセラーも配置されており、現段階での相談窓口の設置は考えていない。

答

重森町長

以前から大変な状況。全国的な問題で大きな関心を持っている。

知事会の大半が反対。国の方針は広域化だが改革は進展していない。

個人の負担は限界があり、基金が底をつけば法定外繰り入れをせざるをえない。国の抜本的改革が大きな条件だが、見えない現状だ。

問

交通弱者へ近距離・目的別支援を

困難な交通弱者への支援は中山間地の共通の悩みである。現行の外出支援サービスに加えて、地域の小売店やかかりつけ医院向けの、近距離を巡回する交通手段を検討されたい。

答

下山副町長

公共交通の確保は最優先の課題。既存の交通事業者の展開が困難な部分の解決施策が行政の役割と考える。

現行事業の役割を再確認し、利用促進を図ることが支援だと考えている。目的地の工夫も検討しているが、まずは利用されたい。

国保制度広域化の見通しは

問

国の「社会保障と税の一体改革」は、増税の議論ばかりで社会保障の先行きは不透明なままである。

市町村国保の財政は大規模な都市を含めて非常に厳しい状況だ。対策として、都道府県単位への広域化の案が示されているが、その展望への見解を問う。

答

石坂保健課長

岡山県国民健康保険広域化等支援連携会議で協議されているが、情報収集と分析をしていく状態である。



どうなる国保財政

総務常任委員会

①「人権侵害救済法案」の国会提出に反対意見を政府に提出する陳情の審査。
年間2万件の人権侵害が起きているが、現行法で99%が救済されていること。新たな人権救済法の必要性和新たな法案が明確な目的を示していないことを重点的に審査し、全員一致で採択とした。
②上竹笠ヶ谷に計画されている安定型産業廃棄物最終処分場に反対の要望書を審査。
町議会は、



慎重な審査を

付託案件の審査

委員会の動き

3月9日

①「人権侵害救済法案」の国会提出に反対意見を政府に提出する陳情の審査。

年間2万件の人権侵害が起きているが、現行法で99%が救済されていること。新たな

産廃反対決議を行っており、大前提があったが、委員間で意見が分かれたこと、要望者に対して質疑があり、参考人として召致すべきと意見が出たため、即日対応できず、継続審査とした。
③平成24年度予算の審査。
所轄する7課の一般会計及び吉川、大和、賀陽の財産区管理特別会計の審査を行った。

民生文教常任委員会

また、新しい校舎の中央部には改修前より中庭があったが、今回の改修で全面を煉瓦敷きとし、上履き



今の発電量は？

層階になるほど接続部が急勾配となっている。
また、新しい校舎の中央部には改修前より中庭があったが、今回の改修で全面を煉瓦敷きとし、上履き

産業建設常任委員会

2月20日、3月16日に開会。所管事務事業の調査と協議、24年度予算審査を行った。
2月20日は、4課から報告を受け協議した。
水道課から老朽管改良の成果と執行状況。また、農業集落排水の加入状況の説明を求めた。
農林課から農業者戸別所得補償制度の内容、農地・水保全管理交付金の金額変更、森林整備活動支援交付金の変更のほか、米粉用米のライスセンター利用、ストックファーム跡地の状況、イノシシ皮の活用



入居者を待つ

草刈補助金の新制度など協議

建設課から24年度の主要事業など5件。とくに、新設される道路整備草刈補助金の制度内容の必要性、公平性を検討、協働推進課から住宅リフォーム事業補助金の交付要件など、長時間にわたり協議した。その後、加茂市場に建設中の町営住宅2棟の現地視察を行った。
3月16日は24年度予算のうち、建設、農林、水道、協働推進の所管事業の審査を行った。

問

図書館の利用促進と将来計画

答

配送サービスなど町民密着で



山崎 誠 議員

問

昨年12月オープンした図書館は順調に滑り出している。

①24年度予算に約1400万円が計上されている。利用促進の具体的な施策。②書籍購入の年次計画と、最終的な規模。③館長以外は6カ月の臨時職員。図書館法の趣旨から不安定雇用は解消すべき。

答

津島教育長

①おはなし会や朗読会の計画的実施。予約による本の配送サービス。地域のサロンへ出張朗読もしたい。②現在、2館合計2万6000冊の蔵書。毎年1500冊程度購入したい。リクエスト本の購入も前向きに行う。③正職員の館長と3人の臨時職員でローテーションしている。司書の専門性がなければ図書館の機能は発揮できない。安定雇

問

原発事故の大半で、自然エネルギーの利用がにわかに注目されている。さまざまな選択肢があるが、安価で効率の良い太陽熱利用の温水システムの補助制度を創設すべき。設置工事を町内業者に限定すれば経済効果も期待できる。

答

岡田副町長



活用したい太陽の恵み

太陽熱を利用した給湯システムの効率や費用対効果が高い

問

太陽光発電の変換効率は18%程度。太陽熱は約3倍の変換効率。設置費用も格段に安い。数値を比べれば優位性はハッキリする。県内には既に3自治体で補助制度がある。もう少し深く研究し、早急に制度を創設すべき。

答

副町長

趣旨は受け止めるが、今議会での制度創設はできない。
吉備高原都市の定住促進に努める
吉備高原都市は、当初計画から50年近く経っても目標にほど遠く、高齢化



当初計画からはや50年

も進んでいると思われる。

①人口と年齢構成の推移。②今後の都市構想。③定住促進の具体的な施策。

答

大塚企画課長

①平成17年の人口1781人、世帯数457。5年後の22年は1839人、世帯数477と若干増加。②都市機能は徐々に図られていると思うが、住宅分譲地は約4割が残り、産業区は4区画残っている。今後も県と協議しながら分譲促進に努める。③県と連携してPRに努める。

問

放射能汚染の心配から、安全な環境を求めて町内に転入者がある。しかし、避難者への支援は他市町に比べ貧弱。

答

前田総務課長

①避難区域の人や罹災証明のある人は把握している。自主避難の人は把握できていない。窓口はまず住民課が行い、総合的には総務課が担当する。②県の支援策は紹介している。③独自の支援策はないが、個々の相談には応じている。



生まれ変わるはるみの丘

勤労者野外施設 はるみの丘

昭和56年6月にオープンした「はるみの丘」は、吉備高原都市のシンボルとして、また、地域の憩いの場として多くの人に利用されて

きたが、財政的に直営による施設管理は行えないとし、平成15年2月をもって事業の廃止を決定した経緯がある。

その後、国立吉備青少年自然の家に委託し、営業の再開が行われたが、平成19年2月に営

業を中止、町に返還された。以後、指定管理者の公募や事業者による提案等を求めてきたが、新たな事業展開には至らず、現在まで閉鎖された

ままになっていた。こうした経緯を踏まえ、町では今後の再利用について協議を重ねてきた。

旧ニューサイエンス館

平成21年3月31日で閉鎖されていた県有財産「旧吉備高原ニューサイエンス館」について、町では、吉備高原都市の理念である、人と人、人と自然ふれあいのある豊かな福祉実現を目指した街づくりを寄与することを目的として、昨年度同施設を県より無償譲渡を受

ストックファーム

昭和40年に当時の加茂川町が国有林59haの払い下げを受け、牛舎、牧草地などを整備した。その後、加茂川町畜産センターとして開設し、畜産農家の経



牛の里から果物の里へ

営規模拡大に貢献してきた。畜産公害や循環型農業の機運が高まる中、昭和61年4月に堆肥供給センターが完成した。その後、平成4年には畜産センターをストックファームに名称変更し、星空観測ができるアストロコテージ「ガリレオ」、農畜産加工場、乗馬クラブなどができ、多くの人が訪れていた。しかし、粗飼料の高騰、乳価の下落等環境が次第に悪化、酪農業の衰退とともに家の減少、施設の老朽化による維持管理費や人

件費の増加により、平成24年3月で閉鎖した。閉鎖に伴い、跡地を有効活用していくため検討・協議を重ね、県も生産面積の規模拡大に取り組んでいることと町農業振興地域整備計画から、ピオーネ生産団地として整備し、新規就農者の受け入れを積極的に進めていくこととした。

町有財産のゆくえ



今再び福祉の村へ

あの時の質問 どねんなっとる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。
(平成22年9月定例会の質問)

質問

町民に配布している「くらしのカレンダー」は、以前のものより分かりにくいとの苦情を聞か、改善の指示をしているか。

答弁

22年6月から様式を改め、旧町別々だったものを統一した。スペースが限られ、若干見にくい点もあったため、配置の修正、書体の変更を行った。今後も字の大きさを含め、可能な修正は行っていく。

その後（企画課）

24年4月1日からごみ処理の賀陽・加茂川地域の統一化が図られ、親しみやすい横型カレンダー方式とし、ごみ収集・保健・医療等の情報を盛り込み、色使いなどを工夫し改善を行った。



新旧カレンダー

質問

災害時要援護者名簿作成への取り組み状況は。名簿を町内の各種関係機関で共有する考えはあるか。

答弁

申請があったものは作成済み。今後は自主防災組織の育成が急務で、併せて再度広報活動を行う予定。関係機関との情報共有を図りたいが、自主防災組織がない場合には慎重にならざるを得ない。

その後（福祉課）

情報をデータベース化して名簿管理を行い、総務課と連携して自主防災組織育成の啓蒙を行っている。情報提供は町災害時要援護者避難支援プランに基づき、提供している。



困った時はお互い様（円城）

ふるさと

宝

第8回

三十番神堂 (大和北)

妙本寺七世日具僧

正（京都妙顕寺六世）の明応6年、京都の吉田家から法華守護神として寄進されたものとされているが、現在の建物は桃山時代の建築である。墓股、木鼻などに桃山時代の豪華な気風を表現している。



県下で優秀な番神道の遺構で、一間社

流造りこけら葺、正面軒唐破風造りである。現在のものは、昭和27年解体修理されたものである。昭和2年、国の重要文化財に指定された。

(賀陽の文化財より)

日吉神社 本殿付棟札 (下加茂)



桜樹皮にて縫目とし、全面に高雅な花卉昆虫、これに金剛輪、或いは胎藏曼陀羅の仏画を拝してある。棟札、絵櫃を通して由緒正しい歴史の重みを感じさせる。

(加茂川の文化財より)

稲荷神社 本殿付棟札 (下加茂)

下加茂日吉谷鎮座、春日造り檜皮葺き、延喜年間近江国坂本日吉神社を奉勧請、棟札の最古は正安3年、次は天文18年のもので、近古のものは延宝4年12月吉辰のもので、これが現在の社殿である。神宝にされている、祭祀用の絵櫃は

(下加茂)

下加茂日吉神社の境内に鎮座、日吉神社の末社で農業を司る神として、氏子民の崇敬信仰の的であるが、本社は桃山期から江戸初期の彩色木組みを多分に遺し



ており、町内でもまれに見る建造物である。

(加茂川の文化財より)

妙本寺本堂 (大和北)

建治元年の建築といわれ、当初は入母屋造り重層の唐様式であったと伝えられる。

現在の建物は5間5間の宝形造り茅葺きである。内部は円柱で、内陣と外陣に分ち柱や桁、虹梁などの木割は雄大である。外側は面取りの



角柱で、室町末期修理のものと考えられる。向拝は江戸時代に附加されたもので、随所に江戸時代の手法が認められる。

(賀陽の文化財より)

編集後記



今年の春は大変寒い日が続き、桜の開花も例年より遅れ、4月中旬になってようやく蕾も色づいてきました。農家では、春の農繁期に向けて、忙しい日々をお送りのことと存じます。

本号から印刷会社も変わり、委員一同、読みやすくわかりやすい紙面づくりに知恵を絞って頑張っているところです。皆様の辛口のご意見をお寄せ下さい。

(難波武志)